

～仮線工事が最盛期です～

工事進捗状況について

現場では仮線工事が最盛期を迎えています。今回の鉄道高架化通信では、普段あまり見ることが出来ない工事ヤード内の状況をご紹介します。

＜逢妻男川渡河部＞

逢妻男川に仮線の橋りょうを整備しています



令和4年2月上旬



右岸から左岸を望む

令和4年3月中旬



左岸から右岸を望む

令和4年3月中旬

＜若林駅周辺＞

仮線のホームを整備しています



令和4年3月中旬

＜三河八橋方起点部＞

高架仮線を整備しています



伊勢湾岸自動車道付近

令和4年2月上旬

ちょっと途中下車

実は貴重な車両

鞍ヶ池公園の動物園の入口に電車が展示されているのはご存知ですか。この車両は名鉄から豊田市へ寄贈された「実物の電車」です。昭和10年代に製作され、名鉄本線用では最古参の電車です。当時、名古屋押切～新岐阜間を35分で結ぶ花形特急電車としてデビューし、昭和23年5月には豊橋～新名古屋～新岐阜間のレールがつながり、直通運転が可能になってからは、同区間の直通電車として活躍していました。以来、実に48年間、地球200周にあたいする約800万kmを走行し、昭和58年1月、この場所に展示される直前まで、本線上を実際に走っていた電車です。

鞍ヶ池公園に展示されることになったのは、昭和54年7月29日に、豊田市民が長年待ち望んでいた豊田市～名古屋間を短絡的に結ぶ名鉄豊田線が開通しましたが、その開通前3ヶ月にわたり、この車両編成で、レールや信号、列車自動停止装置の作動など数々のテストを繰り返した試験車両であることからです。つまり、「豊田線を最初に、いの一歩に走った記念電車」であることから、豊田市へプレゼントが決まったものです。

今回の高架化事業ではどんな車両がテスト走行するのか楽しみです。鞍ヶ池公園にも、ぜひ足を運んでみてください。



事業スケジュール

① 用地の取得

② 準備工事

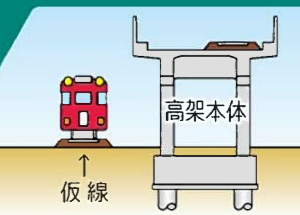
③ 工事説明

④ 仮線工事

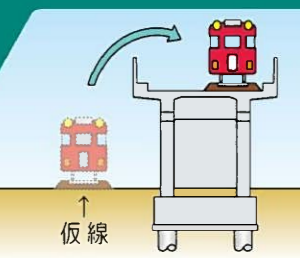
⑤ 仮線への切替



⑥ 高架本体工事開始

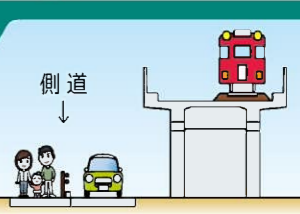


⑦ 高架本体への切替



⑧ 仮線撤去・側道等の整備

⑨ 工事完了



問合せ先

豊田市建設部街路課 建設第3担当
電話番号：0565-34-6651（直通）
FAX番号：0565-35-8196
メール：gairo@city.toyota.aichi.jp